

KORG prologue Sound Librarian

取扱説明書

目次

はじめに	2
prologue Sound Librarian とは?	2
使用上のご注意	2
動作環境	2
インストール	3
Mac へのインストール	3
Windows へのインストール	3
クイック・スタート	4
prologue Sound Librarian を起動する	4
prologue Sound Librarian の画面と操作方法	5
prologue Sound Librarian メイン画面	5
プログラム・リスト	6
ユーザー・オシレーターとユーザー・エフェクトリスト	7
プリセット・データ	8
環境設定	9
MIDI ports	9
Misc	9
ファイルの種類	10
メニュー	11
ファイル	11
編集	12
送信・受信	13
設定	13
トラブル・シューティング	14
起動できない	14
転送に失敗する	14

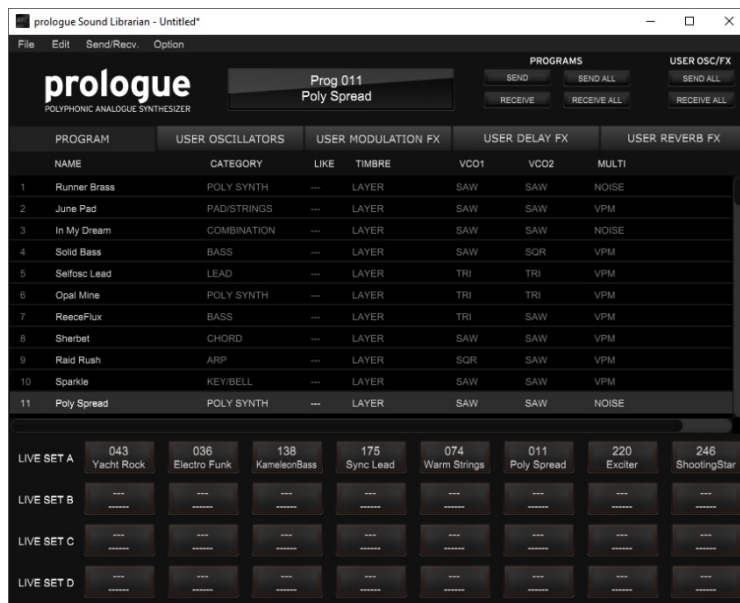
- Apple および Mac は Apple Inc.の登録商標です。
- Windows 7、Windows 8.1 および Windows 10 は Microsoft Corporation の登録商標です。
- すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。
- 製品の仕様および外観は、予告なく変更することがあります。

はじめに

このたびは、コルグ・アナログ・シンセサイザー prologue をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本製品を末永くご愛用いただくためにも、取扱説明書をよくお読みになって、正しい方法でご使用ください。

prologue Sound Librarian とは？

prologue Sound Librarian は、prologue のプログラムを並び替えたり、コンピューター にデータを保存したりすることができます。
また、prologue で使うユーザー・オシレーターやユーザー・エフェクトを管理することができます。



使用上のご注意

- 🔊 prologue Sound Librarian の起動中は、prologue の接続を解除したり、電源をオフにしたりしないでください。
- 🔊 prologue Sound Librarian の起動中は、prologue Sound Librarian の画面を、リサイズしたり移動したりしないでください。
- 🔊 データの転送中は、prologue および prologue Sound Librarian を操作しないでください。
- 🔊 prologue Sound Librarian 使用中は、prologue のグローバル・パラメーターを変更しないでください。

動作環境

prologue Sound Librarian を使用するには、動作環境を満たすコンピューターと USB ケーブルが必要になります。

Mac

対応 OS: OS X 10.10 以降

Windows

対応 OS: Windows 7 SP1 (32bit, 64bit) 以降

🔊 Windows 8.1/10 で、タッチパネルを使用した操作には対応していません。



🔊 この動作環境を満たすすべてのコンピューターでの動作を保証するものではありません。

インストール

prologue Sound Librarian を使用するときは、コルグ・ウェブサイトより KORG USB-MIDI Driver をダウンロードし、付属のドキュメントにしたがってインストールしてください。(<http://www.korg.com/>)

Mac へのインストール

Mac へのインストールは、以下の手順で行います。

1. 「prologue Sound Librarian」フォルダーを「アプリケーション」フォルダーにコピーします。

Windows へのインストール

Windows へのインストールは、以下の手順で行います。

1. 「prologue Sound Librarian Installer****.exe」(**** はバージョン番号)をダブルクリックして、インストーラーを起動します。
2. 画面の指示にしたがってインストールします。

クイック・スタート

prologue Sound Librarianを起動する

prologue Sound Librarianを使用するときは、コルグ・ウェブサイトより KORG USB-MIDI Driver をダウンロードし、付属のドキュメントにしたがってインストールしてください。(<http://www.korg.com/>)

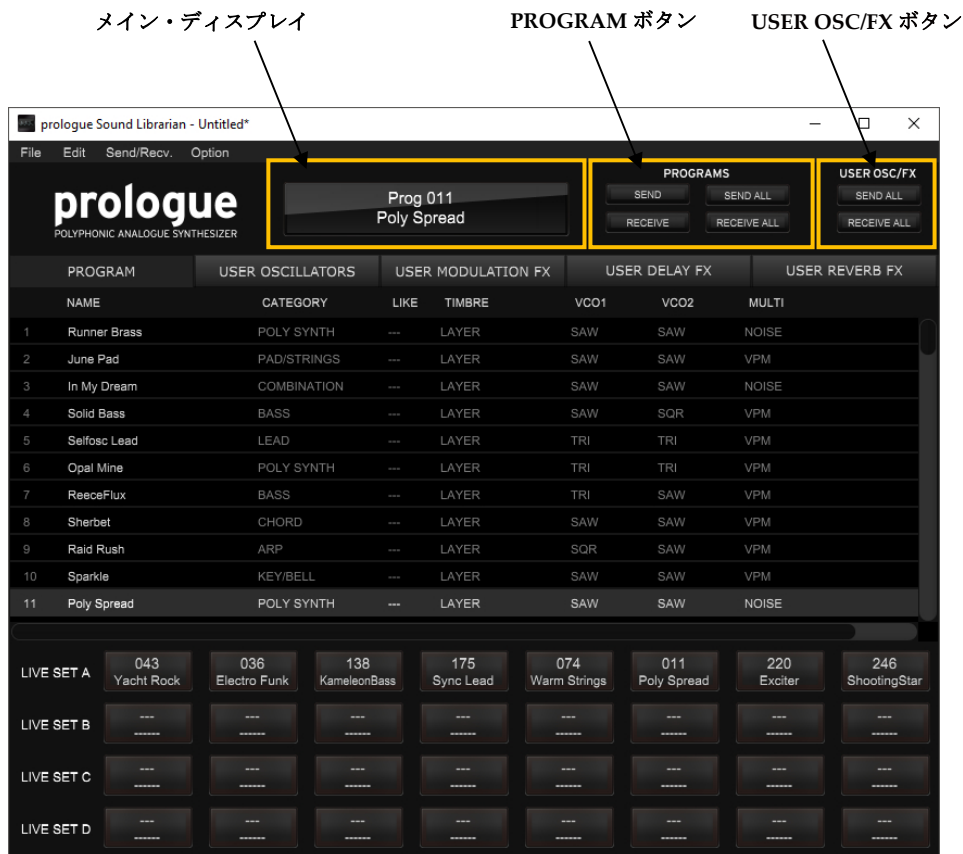
1. USB ケーブルでコンピューターと prologue を接続します。
2. prologue Sound Librarian を起動します。
Mac: 「アプリケーション」→「prologue」→「prologue Sound Librarian」
Windows 7: タスクバーのスタート・ボタン →「すべてのプログラム」→「KORG」→「prologue」→「prologue Sound Librarian」
Windows 8.1: ホーム画面 -「prologue Sound Librarian」
Windows 10: スタート・メニュー →「すべてのプログラム」→「KORG」→「prologue」→「prologue Sound Librarian」
3. prologue Sound Librarian の画面が表示され、自動的に prologue からプログラム・データとユーザー・オシレーター、ユーザー・エフェクトのデータが読み込まれます。

prologue Sound Librarian の画面と操作方法

ここでは prologue Sound Librarian の各画面の機能を説明します。

prologue Sound Librarian メイン画面

prologue Sound Librarian を起動すると表示される画面です。



メイン・ディスプレイ

選択したプログラムのプログラム名を表示します。

PROGRAM ボタン

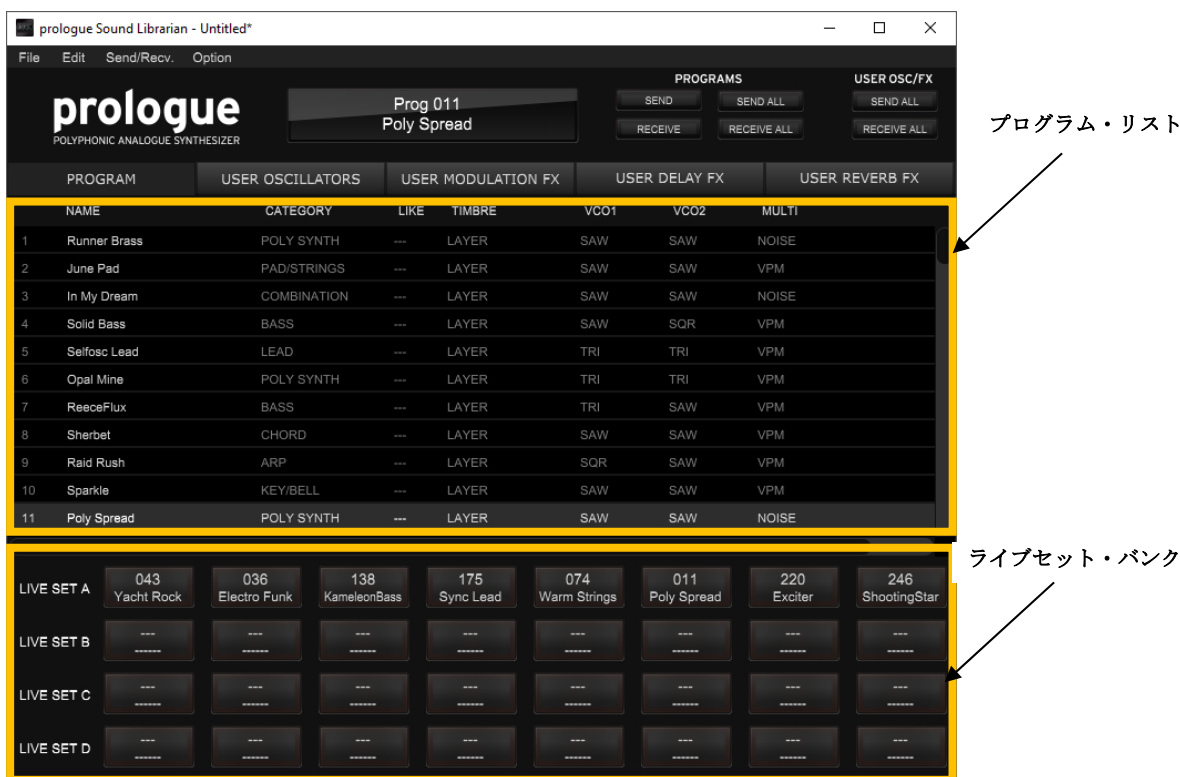
このボタンを押すと、現在選択されているプログラム、または全てのプログラムを送受信します。

USER OSC/FX ボタン

このボタンを押すと、ユーザー・オシレーターとユーザー・エフェクトのデータを送受信します。

プログラム・リストとライブセット・バンク

プログラムの並び替えと名前の変更ができます。また、4つのライブセット・バンクにプログラムを登録することができます。



プログラムを選択する

プログラム・リストの項目をクリックしてプログラムを選択します。プログラムを選択すると、選択したプログラムが prologue に転送され、音色の確認ができます。

Tip Mac では command キー、Windows では Ctrl キーを押しながらプログラム・リストの項目を選択すると複数の項目を一度に選択できます。

プログラムを並び替える

プログラム・リストの項目をドラッグ&ドロップすると、プログラムの並びを変更できます。

Tip 複数の項目を選択し、一度に並び替えることも可能です。

プログラムをコピーする

プログラム・リストの項目を、Mac では option キー、Windows では Ctrl キーを押しながらドラッグ&ドロップすると、プログラムをコピーできます。

Tip 複数の項目を選択し、一度にコピーすることも可能です。

プログラム名を変更する

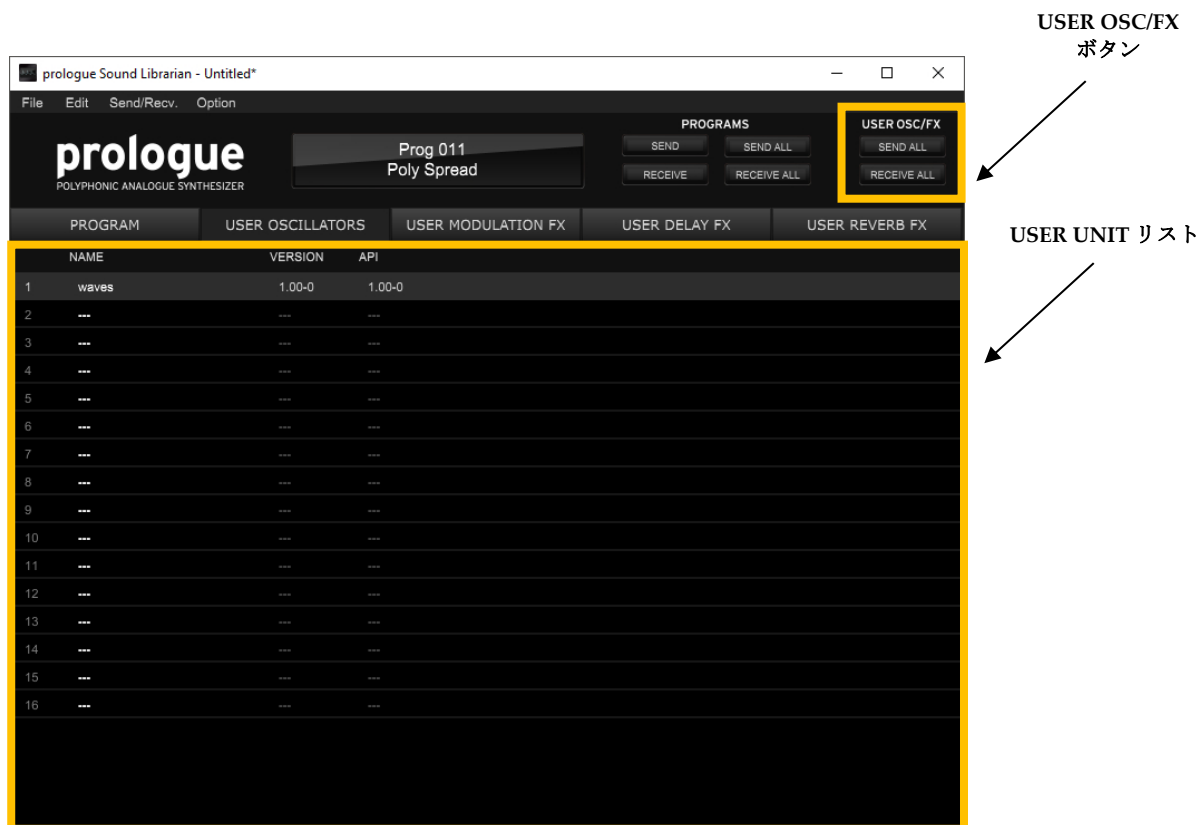
PROGRAM NAME の項目をダブルクリックすると、プログラム名を変更できます。

プログラムをライブセット・バンクに登録する

ライブセット・バンクのスロットにプログラムをドラッグ&ドロップすると登録できます。スロットをダブルクリックをすると削除することができます。

ユーザー・オシレーターとユーザー・エフェクトリスト

タブには4つのユーザーエリアがあり、1つはユーザー・オシレーター、残りは各タイプのユーザー・エフェクトです。この画面では prologue SDK (詳細につきましては <http://korg.com/prologue> を御覧ください) を使って作られたユーザー・オシレーターやユーザー・エフェクトを並び替えたり、prologue 本体に転送することができます。ユーザー・オシレーターまたはユーザー・エフェクトのことを USER UNIT と呼びます。



USER UNIT ファイルを追加する

ロードしたいタイプ (USER OSCILLATORS, MODULATION FX, USER DELAY FX, USER REVERB FX) のタブを選択し、USER UNIT ファイル (.prlgunit) を置きたい場所にドラッグ&ドロップします。

USER UNIT を並び替える

USER UNIT の項目をドラッグ&ドロップすると、USER UNIT の並びを変更できます。

Tip 複数の項目を選択し、一度に並び替えることも可能です。

USER UNIT を prologue に転送する

USER OSC/FX ボタンにある SEND ALL を押すと prologue 本体にユーザー・オシレーターとユーザー・エフェクトが転送されます。データの転送が完了すると、prologue は USER UNIT リストの内容通りに更新されます。

プリセット・データ

プリセット・データはファクトリー・プリセットなど、コルグから提供されるプログラム・データ集です。
「設定」メニューから「プリセット・ウインドウを表示」を選択すると、プリセット・データ・ウインドウが表示されます。



プリセット・データを試奏する

プリセット・データ・ウインドウのプログラムを選択すると、prologue に反映され、音色を試すことができます。

プリセット・データのプログラムをプログラム・リストに追加する

プリセット・データ・ウインドウからプログラム・リストにプログラムをドラッグ & ドロップすると追加することができます。

プリセット・データを追加する

プリセット・データ・ファイル(****.prlgpreset) (**** はファイル名)を prologue Sound Librarian アイコンにドラッグ & ドロップして起動すると、プリセット・データを追加することができます。

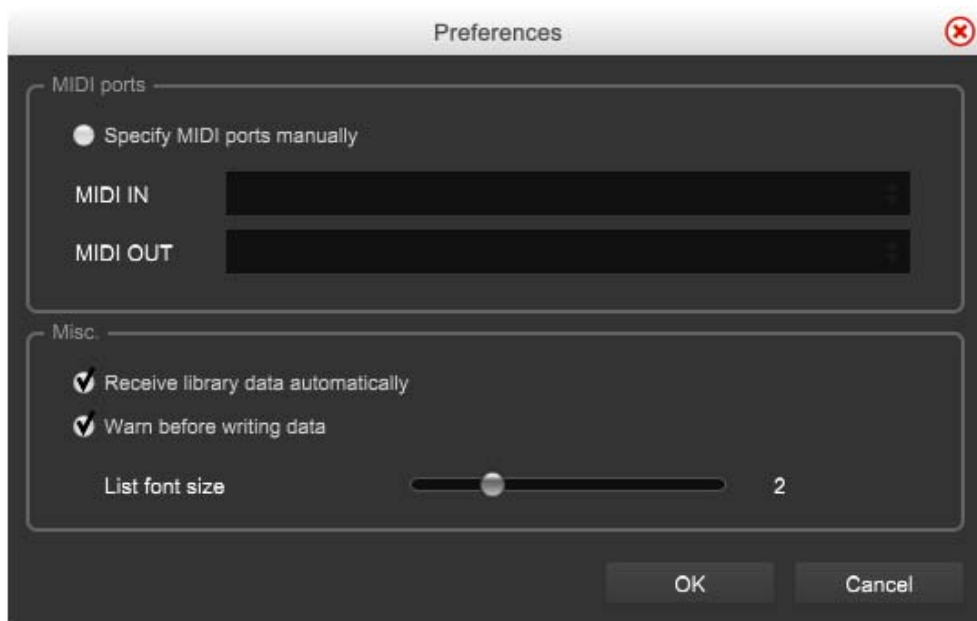
Tip 「File」メニューの「Import preset file」でも、プリセット・データを追加することができます。

追加した全てのプリセット・データを削除する

「Option」メニューの「Uninstall all preset and qui」を実行すると、追加した全てのプリセット・データを削除することができます。

環境設定

「Option」メニューから「Preferences」を選択すると、環境設定ダイアログが表示されます。



MIDI ports

Specify MIDI ports manually

通常は接続されている prologue を自動的に検出しますが、手動で MIDI ポートを設定するときにオンにします。コンピューターに複数台の prologue を接続したときなどに使用します。この設定をオンにしたときは、MIDI IN/OUT にそれぞれ prologue が接続されているポートを指定します。

MIDI IN

prologue が接続されている MIDI IN ポートを指定します。

Tip 通常、prologue の「KBD/KNOB」ポートを指定します。

MIDI OUT

prologue が接続されている MIDI OUT ポートを指定します。

Tip 通常、prologue の「SOUND」ポートを指定します。

Misc.

Receive all data automatically

オンに設定すると、prologue Sound Librarian 起動時に prologue から自動的にデータを読み込みます。オフに設定すると、自動的に読み込まなくなります。

Warn before writing data

オンに設定すると、prologue ヘデータを書き込む前に警告ダイアログを表示します。オフに設定すると、警告ダイアログを表示せずに書き込みます。

List font size

プログラム・リスト、プリセット・ウィンドウの文字表示サイズを設定します。

ファイルの種類

prologue Sound Librarian は、以下のファイルを扱います。

種類	内容	拡張子
ライブラリー・データ	500 個のプログラム・データとライブセット・バンク・データ	prglib
プログラム・データ	1 個のプログラム・データ	prgprog
USER UNIT データ	1 個のユーザー・オシレーター または ユーザー・エフェクト	prgunit
プリセット・データ	KORG から提供されたプリセット集	prgpreset

メニュー

ファイル

新規作成

新しいライブラリー・データを作成します。

開く...

ライブラリー・データ・ファイルを読み込みます。

保存

現在編集中のライブラリー・データを、ライブラリー・データ・ファイルに上書き保存します。

名前を付けて保存...

現在編集中のライブラリー・データに名前をつけてライブラリー・データ・ファイルとして保存します。

プログラム・データを読み込み

プログラム・リストで選択しているプログラムに、プログラム・データ・ファイルを読み込みます。

プログラム・データを保存

プログラム・リストで選択しているプログラムを、名前をつけてプログラム・データ・ファイルとして保存します。

プリセット・ファイルをインポート

KORG の提供するプリセット集をインポートします。

編集

元に戻す

ひとつ前の操作を取り消します。

やり直す

「元に戻す」を実行する前の状態に戻します。

切り取り

選択したプログラムを切り取ります。

コピー

選択したプログラムをコピーします。

貼り付け

カット、またはコピーしたプログラムを、選択したプログラムへ貼り付けます。

削除

選択したプログラムをクリアします。

送信・受信

ライブラリー・データを読み込み

prologue から全てのプログラムとライブ・セットバンクを読み込みます。

ライブラリー・データを書き込み

現在編集中の全てのプログラムとライブ・セットバンクを、prologue に書き込みます。

プログラム・データを読み込み

prologue Sound Librarian のプログラム・リストで選択しているプログラムに prologue のプログラムを読み込みます。

ライブラリー・データを書き込み

prologue Sound Librarian のプログラム・リストで選択しているプログラムを prologue に書き込みます。

ユーザー・データを読み込み

prologue から全てのユーザー・オシレーター、ユーザー・エフェクトを読み込みます。

ユーザー・データを書き込み

現在編集中の全てのユーザー・オシレーター、ユーザー・エフェクトを prologue に書き込みます。

設定

プリセット・ウインドウを表示

プリセット・データ・ウインドウを表示します。

環境設定...

環境設定ダイアログを表示します。

バージョン情報

prologue Sound Librarian のバージョン情報を表示します。

プリセットを初期化して終了

追加した全てのプリセット・データをアンインストールして、prologue Sound Librarian を終了します。

トラブル・シューティング

起動できない

- お使いのコンピューターが、動作環境を満たしているか確認してください。
- 他のアプリケーションが起動していないか確認してください。
他のアプリケーションが起動していると、起動に失敗したり転送に失敗したりすることがあります。
失敗した場合は他のアプリケーションをすべて終了させて、再度動作を確認してください。

転送に失敗する

- 接続したコンピューターに prologue が認識されていることを確認してください。
Windows 7/8.1/10: コントロール パネルの「ハードウェアとサウンド」→「デバイス マネージャー」の
“サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラー”で確認してください。
Mac: 「アプリケーション」→「ユーティリティ」→「Audio MIDI 設定」を起動し、「ウィンドウ」メニューから
“MIDI ウィンドウを表示”を選択して開く“MIDI スタジオ”ウィンドウで確認してください。
- 最新の KORG USB-MIDI Driver がインストールされていることを確認してください。
最新の KORG USB-MIDI Driver は、コルグ・ウェブサイトからダウンロードできます。
(<http://www.korg.com/>)
- 手動で MIDI ポートを設定しているときは、MIDI ポートの設定が間違っていないか確認してください。
- prologue の接続に USB ハブを使用している場合は、USB ハブを使用せず prologue をコンピューターに直接接続して、動作を確認してください。